

若者のコンビニエンスストアにおける アイスクリーム購入の意識と実態

アイスクリーム白書 2000



トピックス調査「コンビニエンスストア編」

1. コンビニエンスストアの利用頻度

- 6割以上が、週3回以上コンビニエンスストア通い
- 7割近くが、3年前よりコンビニエンスストアの利用回数が増加
- 増加理由は、家や学校、会社の近くにコンビニが増えたから

2. コンビニエンスストアの利用意識と実態

- コンビニは何か楽しいことがあるようで、つい行きたくなる人気スポット
- 女子高生・女子大生は、好奇心旺盛で目新しいものをすかさずチェック

3. コンビニエンスストアの人気コーナーランキング

- 男性はお弁当系の支持が高く、女性にはデザート・お菓子系が人気

4. アイスクリームの好意度とコンビニエンスストアでの購入状況

- 若者の10人中9人がアイス好き、アイスは通年型デザートとして人気
- 9割近くが月2回以上コンビニでアイスクリームを買っている
- 男性は「冷たい物が食べたい時」女性は「甘い物が食べたい時」に購入

5. アイスクリーム1個の購入金額と購入タイプ

- 平均173.79円のアイスを購入、人気タイプは100円程度のクリーム系カップ

6. アイスクリームと購入を迷う商品とその理由

- アイスクリームのライバルは「ゼリー・プリン」
- 迷う理由は「他のものがおもしろそうだったから」

7. アイスクリームのイメージと栄養面の認識

- アイスの優れた栄養面について正しく知っていた人は、ごく僅か

社団法人 日本アイスクリーム協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-14-19 乳業会館

<http://www.icecream.or.jp/>

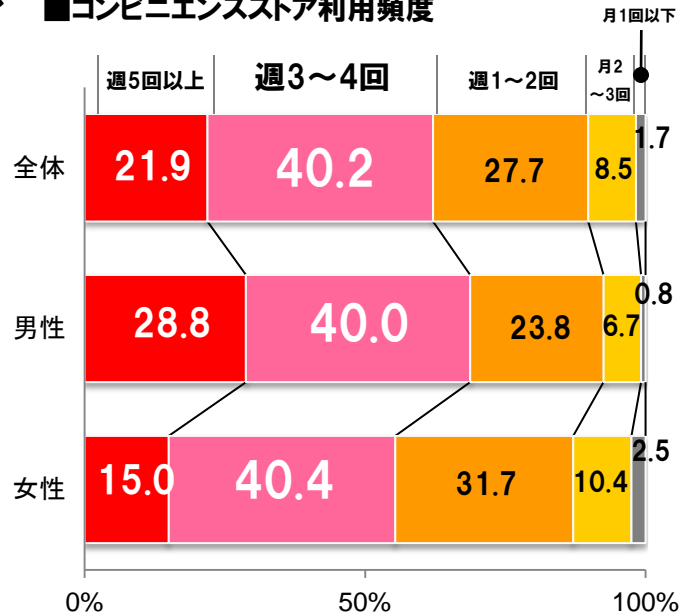
この資料に関するお問い合わせ 渡部、瀬上 Tel.03-3264-3104

1 コンビニエンスストアの利用頻度

6割以上が週3回以上、2割以上が「週5回以上」コンビニエンスストアを利用

- まず初めに、コンビニエンスストアの利用頻度を聞いたところ、6割以上=5人に3人が週3回以上コンビニを利用していました。また、全体でなんと2割以上が「週5回以上」コンビニを利用、コンビニ通いが日課となっていることがわかりました。
- 性別でみると、男性の方が利用頻度が高く、なかでも「週5回以上」では、女性15%に対して男性は約2倍の28.8%と利用頻度が非常に高くなっています。
- 若者のライフスタイルにすっかり定着しているコンビニ通いが、浮き彫りになりました。

■コンビニエンスストア利用頻度



7割近くが、3年前よりコンビニエンスストアの利用回数が増加

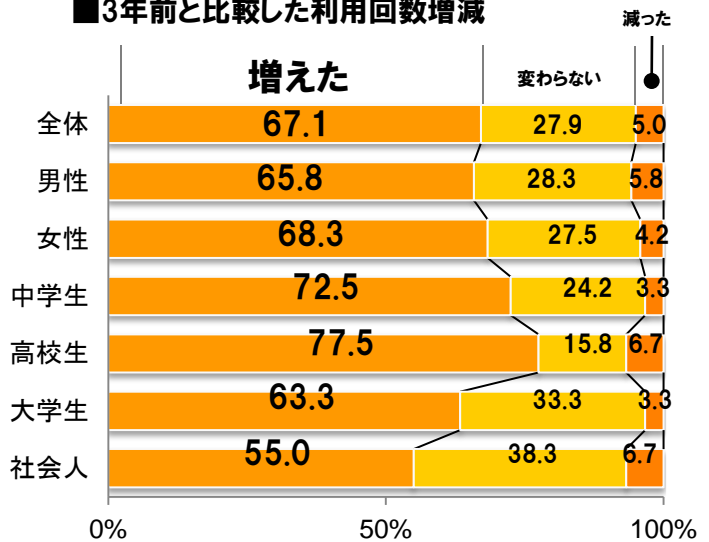
増加理由は、家や学校、会社の近くにコンビニが増えてさらに身近になったから

- コンビニ利用回数の増減について聞いたところ、全体で7割近くの人が、3年前より利用回数が増えたと答えています。
- 世代別でみると、最も高いのは高校生の77.5%で、高校生の4人に3人以上がコンビニ利用回数が増えていることとなります。

続いて、増えた理由について聞いてみました。

- 利用回数増加の理由は、1位「家の近くにコンビニが出来た」、2位「自分で買い物をする機会が増えた」、3位「欲しいものが何でも揃っている」となっています。
- 昨今、10分も離れていない所に別のコンビニが並んでいる光景をよく見かけます。さらに出店が続き、より身近に、より便利になったことが利用増加の要因と言えるのではないのでしょうか。

■3年前と比較した利用回数増減



■利用回数増加の理由

順位	[増加理由]	全体
1位	家の近くに来た	43.2%
2位	自分で買い物する機会増	41.6%
3位	欲しいものが揃っている	40.4%
4位	会社や学校の近くに来た	32.9%
5位	夜更かし、出歩くことが増えた	29.5%

2 コンビニエンスストアの利用意識と実態

コンビニに対する意識や利用実態について、肯定型「ある」と否定型「ない」で答えてもらいました。

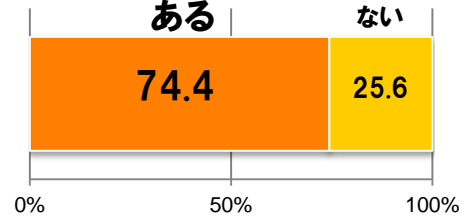
コンビニは何か楽しいことがありそうで、つい行きたくなる人気スポット

■通勤や通学の途中についふらっと寄ってしまう

4人に3人が、ついふらっと寄ってしまう

- ・約75%がコンビニがあると、ついふらっと寄ってしまうことが「ある」という答え。生活にとけ込んだ身近な存在であることが伺えました。

■通勤や通学の途中についふらっと寄ってしまう

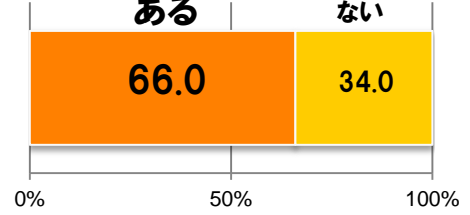


■コンビニに行くとか何か楽しいことがありそう

3人に1人が、コンビニに楽しいイメージ

- ・66%がコンビニに行くとか楽しいことがありそうだと答えています。ますます充実したサービスや新製品などの豊富な品揃えが、楽しいことがありそうな期待感を盛り上げ、若者の情報発信基地として人気の様子が伺えました。

■コンビニに行くとか何か楽しいことがありそう

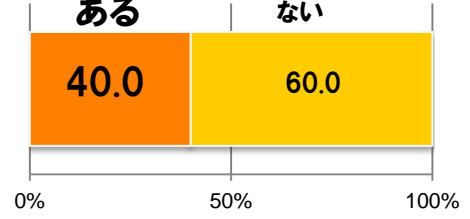


■夜遅くなると買う物も決めずについ行ってしま

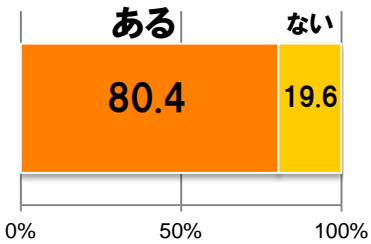
5人に2人が、深夜にコンビニ通い

- ・40%が、夜遅くなるとついコンビニに行ってしまうと答えています。さらに出店が続く、距離的にも近くなったコンビニは、昼夜を問わず、時間が空くとなんとなく行きたくなる身近な存在のようです。

■夜遅くなると買う物も決めずについ行ってしま



■店の中に入るととりあえず店の中をぐるぐる回る

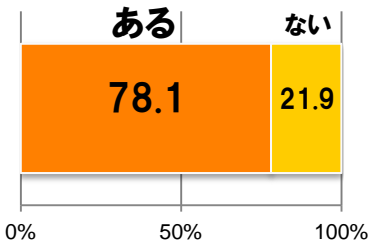


(%)	ある	ない
[男性]	75.9	24.2
中学生	83.3	16.6
高校生	78.3	21.6
大学生	70.0	30.0
社会人	71.6	28.4
[女性]	85.0	15.0
中学生	85.0	15.0
高校生	85.0	15.0
大学生	88.3	11.7
社会人	81.7	18.4

女子高生・女子大生は、好奇心旺盛 目新しいものもすかさずチェック

- ・全体の80%以上が、コンビニ店内をぐるぐる回ると答えています。
 - ・また、全体の78%が目新しいものを手にとって見ると答えています。
 - ・ふたつの項目を世代で見ると、目立って比率が高いのが女子高生と女性大学生となっています。
- このことから、女子高生・女子大生は好奇心旺盛で、目新しいものをすかさずチェックする、流行敏感層であることが伺えました。

■目新しいものがあると手にとって見る



(%)	ある	ない
[男性]	71.2	28.8
中学生	78.3	21.7
高校生	68.4	31.7
大学生	65.0	35.0
社会人	73.3	26.6
[女性]	85.0	15.1
中学生	76.7	23.3
高校生	91.7	8.3
大学生	88.4	11.7
社会人	83.4	16.7

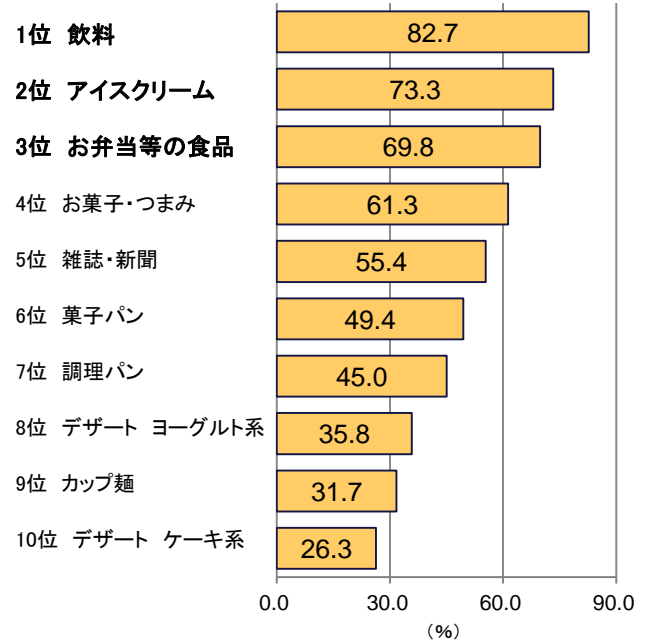
3 コンビニエンスストアの人気コーナーランキング

人気コーナーは「1位 飲料」「2位 アイスクリーム」「3位 お弁当等の食品」

男性は「お弁当系」の支持が高く、女性には「デザート・お菓子系」が人気

- ・コンビニエンスストアの人気コーナーでは、「1位 飲料 (82.7%)」「2位 アイスクリーム (73.3%)」「3位 お弁当 (69.8%)」という結果でした。コンビニの主力商品「お弁当」をおさえて上位を獲得した飲料とアイスクリームは、大健闘と言えるのではないのでしょうか。
- ・これを性別で見ると、利用実態の差が顕著に表れています。「お弁当系」では圧倒的に男性の支持が高いのに比べて、「デザート・お菓子系」は女性の支持が高くなっており、性別によってコンビニ利用目的が異なることがわかりました。

■コンビニ人気コーナーランキング ベスト10 [全体]



■性別人気コーナーランキング

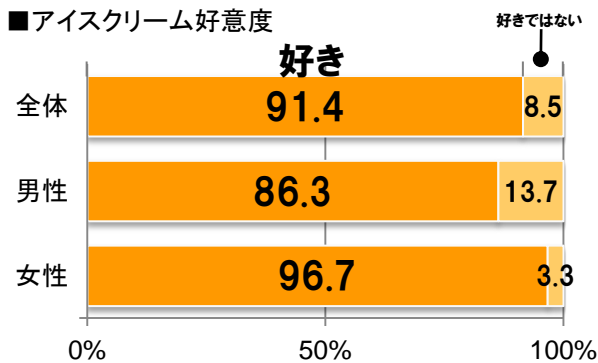
順位	[全体]	[人気コーナー]	[男性]	[女性]
1位	82.7%	飲み物	81.3%	84.2%
2位	73.3%	アイスクリーム	66.7%	80.0%
3位	69.8%	お弁当等の食品	73.8%	65.8%
4位	61.3%	お菓子・つまみ	52.5%	70.0%
5位	55.4%	雑誌・新聞	59.6%	51.3%
6位	49.4%	菓子パン	47.5%	51.3%
7位	45.0%	調理パン	46.7%	43.3%
8位	35.7%	デザート ヨーグルト系	21.3%	50.4%
9位	31.7%	カップ麺	41.7%	21.7%
10位	26.3%	デザート ケーキ系	14.2%	38.3%

男性 の支持が高い 女性 の支持が高い

4 アイスクリームの好意度とコンビニエンスストアでの購入状況

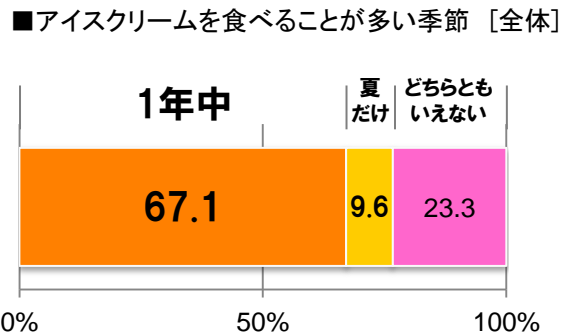
若者の10人中9人がアイスクリーム好き

- ・アイスクリームの好意度では、全体の9割以上が「アイスクリームを好き」と答えています。
- ・性別では、男性より女性が10%以上比率が高く96.7%と非常に高い結果となっています。



アイスは通年型デザートとして人気

- ・約7割が季節に関係なく1年中食べると答えています。暑い夏の冷たいデザートとしてだけでなく、季節に関係ない通年型デザートとして定着していたことが伺えました。



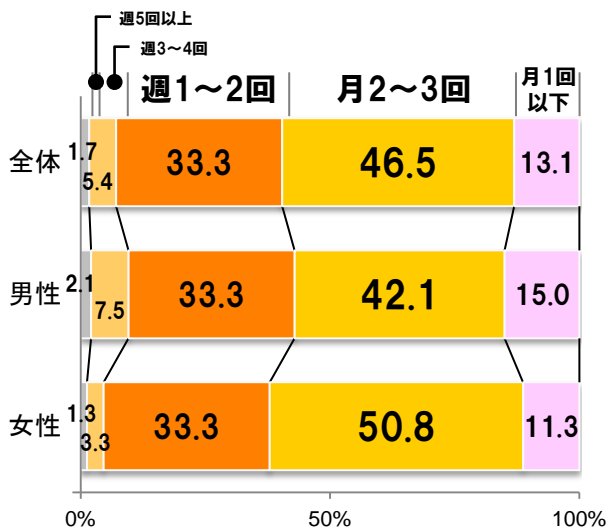
9割近くが「月2回以上」コンビニエンスストアでアイスクリームを買っている

- ・コンビニでのアイス購入頻度は、「月2~3回 (46.5%)」「週1~2回 (33.3%)」という結果でした。9割近く (86.9%) が、月2回以上コンビニでアイスクリームを買っていることがわかりました。

男性がアイスを買うのは「冷たい物が食べたい時」、女性は「甘い物が食べたい時」

- ・コンビニでアイスを買うのはどんな時か聞いたところ、男性は「冷たい物が食べたい時 (82.1%)」が高く女性は「甘い物が食べたい時 (65.8%)」が高い結果となっており、その意識の差が顕著に表れました。
- ・また、3位の「店頭でおいしそうに見えた時」では、男性 (31.3%) に対して、女性は (51.3%) と20%も高い結果。やはり女性の方が甘い物の誘惑に弱いようです。

■コンビニでのアイスクリーム購入頻度



■コンビニで購入オケージョン

順位	[全体]	[オケージョン]	[男性]	[女性]
1位	79.0%	冷たいものが食べたい時	82.1%	> 75.8%
2位	59.0%	甘いものが食べたい時	52.1%	< 65.8%
3位	41.3%	店頭でおいしそうに見えた時	31.3%	< 51.3%
4位	19.0%	のどがかわいた時	21.3%	16.7%
5位	16.9%	友達が食べていた時	17.9%	15.8%

男性 の支持が高い 女性 の支持が高い

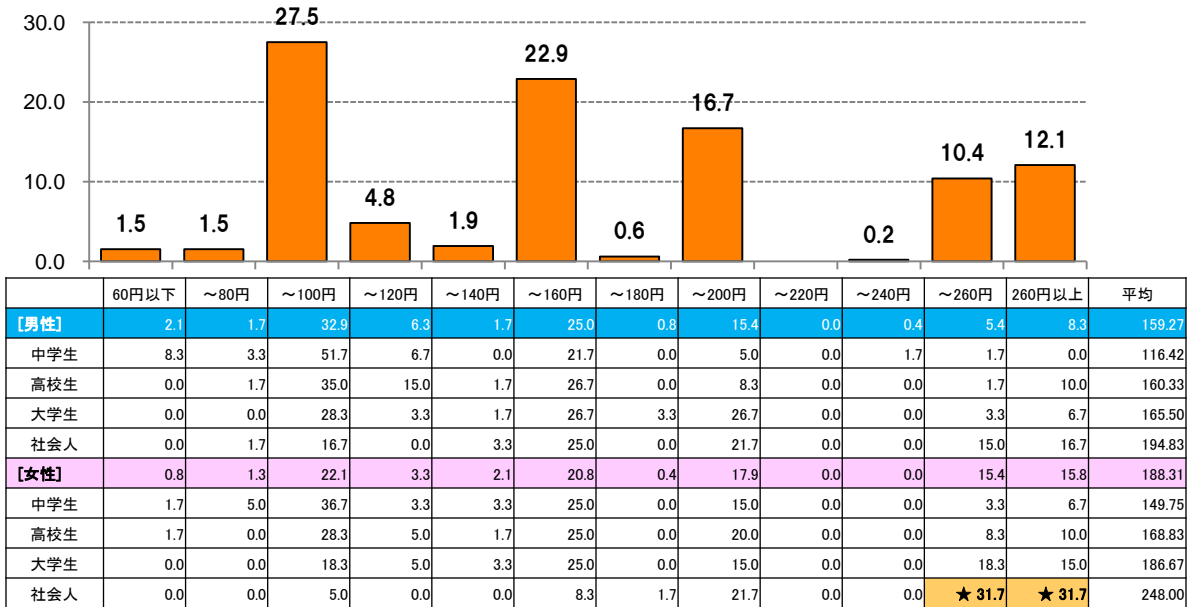
5 アイスクリーム1個の購入金額と購入タイプ

自分のために平均173.79円のアイスクリームを購入

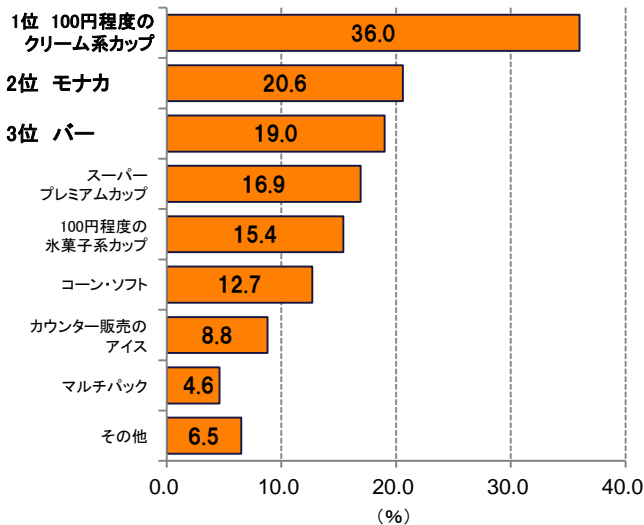
人気のタイプは、「1位 100円程度のクリーム系カップ」「2位 モナカ」「3位 バー」

- ・1個あたりの金額は、「～100円 (27.5%)」が最も高く、「～160円 (22.9%)」「～200円 (16.7%)」と続いています。
- ・購入タイプは、「1位 100円程度のクリーム系カップ (36.0%)」が最も高く、「2位 モナカ」、「3位 バー」となっています。
- ・また、女性社会人においては、1個あたりの購入金額と人気タイプの結果から、「～260円 (31.7%)」「261円～ (31.7%)」とスーパープレミアムタイプの人気の様子が伺えました。

■アイスクリーム1個あたりの購入金額 [全体]



■購入タイプ



■購入タイプベスト4の属性別比率

(%)	100円 クリーム系 カップ	モナカ	バー	スーパー プレミアム カップ
[全体]	36.0	20.6	19.0	16.9
[男性]	34.2	20.8	27.1	10.8
中学生	23.3	8.3	41.7	3.3
高校生	41.7	35.0	23.3	5.0
大学生	38.3	18.3	25.0	11.7
社会人	33.3	21.7	18.3	23.3
[女性]	37.9	20.4	10.8	22.9
中学生	45.0	18.3	5.0	6.7
高校生	33.3	23.3	21.7	10.0
大学生	40.0	21.7	13.3	21.7
社会人	33.3	18.3	3.3	★53.3



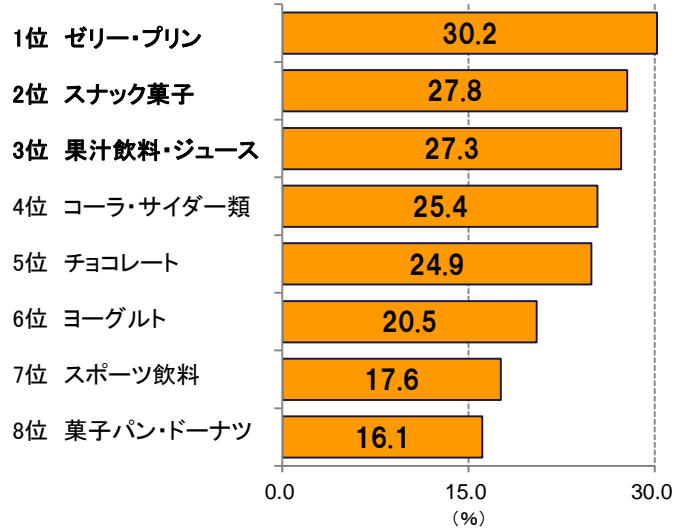
6 アイスクリームと購入を迷う商品とその理由

アイスクリームのライバルは「ゼリー・プリン」

売場でいかにおいしそう感をアピール出来るかが、勝負の分かれ目

- ・アイスクリームを買おうと思う時に迷う商品を聞いたところ、「1位 ゼリー・プリン (30.2%)」「2位 スナック菓子 (27.8%)」「3位 果汁飲料・ジュース (27.3%)」となっています。
- ・また、迷った商品別の理由では「1位 ゼリー・プリン」で「おいしそうだった (54.8%)」が非常に高い比率になっています。デザート類が豊富に揃うコンビニの売場では、いかにおいしそう感をアピール出来るかが勝負の分かれ目のようです。
- ・また、「他に新しいものがあったから」を理由に「ゼリー・プリン」「果汁飲料」と迷うことも多いらしく、目新しいものに敏感な様子が伺えました。

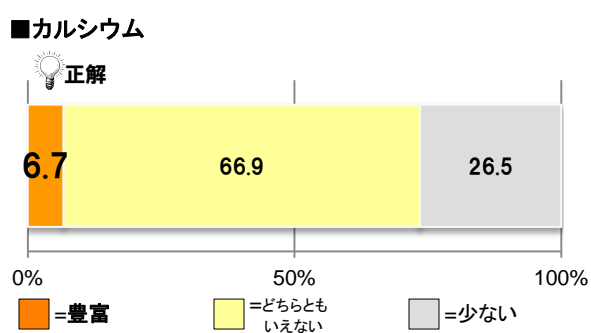
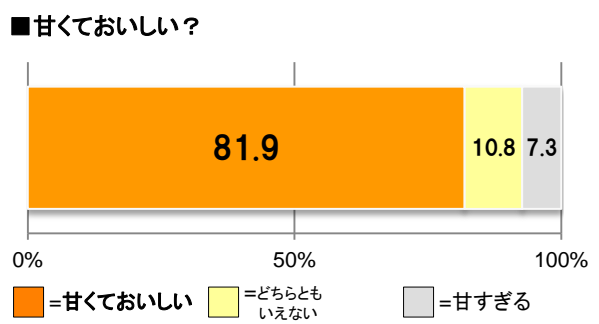
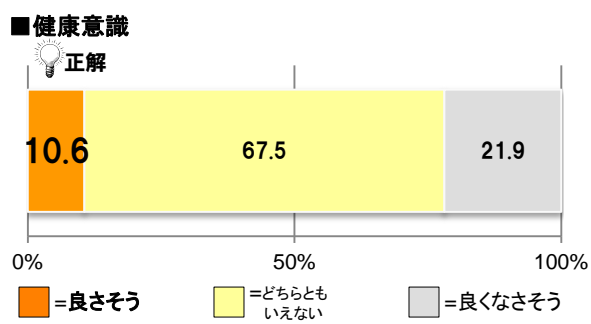
■アイスのライバル ベスト8 [全体]



■ベスト5商品別の迷った理由	他のもの おいしそう だった	他に新しい ものが あったから	のどが 渴いていた から	太りすぎを 気にした	お腹が すいていた	持ち運びが できる
1位 ゼリー・プリン	54.8%	22.6%	21.0%	16.1%	9.7%	9.7%
2位 スナック菓子	42.1%	14.0%	22.8%	14.0%	24.6%	3.5%
3位 果汁飲料	37.5%	19.6%	64.8%	7.1%	14.3%	12.5%
4位 コーラ・サイダー類	19.2%	9.6%	63.5%	7.7%	9.6%	17.3%
5位 チョコレート	45.1%	13.7%	21.6%	13.7%	11.8%	11.8%

7 アイスクリームのイメージと栄養面の認識

アイスクリームの優れた栄養面について正しく知っていた人は、ごく僅か
依然誤解されているアイスクリームの栄養面



8割以上が、アイスクリームは「甘くておいしい」イメージと答えていますが、その反面「健康に良くなさそう」や「太りやすそう」など、依然誤ったイメージを持つ人が多く、アイスクリームの栄養面について正しく知っている人はごく僅かでした。

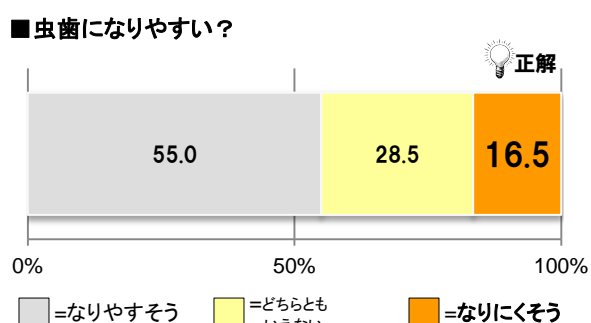
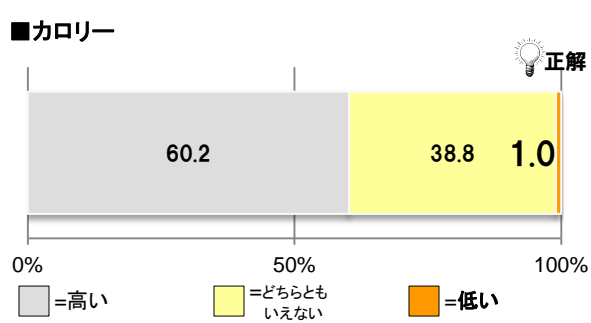
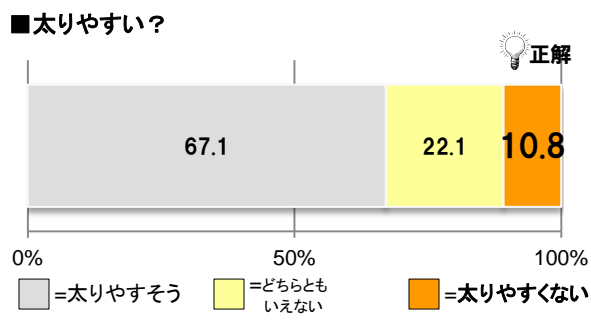
[アイスクリームの誤解を解く]

★「健康に良くなさそう」は誤解です

アイスクリームは、新鮮な牛乳を主原料としているため、たんぱく質、脂質、糖質、カルシウム等身体に必要な栄養素が多く含まれている、栄養面に優れた食品です。

★「太る」「高カロリー」「虫歯になりやすい」は誤解です

アイスクリームは、甘くて乳脂肪分を豊富に含むため、太りやすいと思われがちです。しかし、アイスクリームは100gあたり180kcalで食パン260kcal、ショートケーキ340kcalと比較するとはるかにカロリーが少ないのです。また、虫歯については、アイスクリームは口に入ると溶けて液状になるため、歯に付きにくく虫歯になりにくいと言われています。





●毎日必要な栄養素が効率よく摂取できる「アイスクリーム」。

アイスクリームはおいしいだけでなく、栄養面でも優れた食品です。牛乳を主原料としているため、たんぱく質、脂質、糖質、カルシウムをはじめ、身体に必要な栄養素のほとんどが含まれています。骨粗鬆症を予防するカルシウムを豊富に含み、目に良いビタミンAや、肌荒れを防ぐビタミンB₂などを効率良く摂れる食品です。また製造時に冷凍されるため、原料を新鮮なまま食べることが出来るのもメリットのひとつです。

●「アイスクリーム」は太りにくい。

アイスクリームは、甘くて乳脂肪分を豊富に含むため、太りやすいと思われがちです。ところが、アイスクリームは100gあたり180kcalで、食パンの260kcal、ショートケーキの340kcalと比較するとはるかにカロリーが少ないのです。そのうえ、アイスクリームは冷たいので、パンやケーキのようにパクパクたくさん食べることが出来ません。ですから、アイスクリームからたくさんのカロリーを摂ることは難しいので、太りやすいということはありません。

●成長期のお子さまのおやつに最適。

発育期は、骨が太く長くなる時期です。丈夫な骨を作るには毎日十分なカルシウムや栄養を摂ることが大切です。アイスクリームは発育に必要なたんぱく質、骨や歯を作るカルシウム、そしてカルシウムの吸収を助ける乳糖を豊富に含み、栄養を補うのはもちろん、細く乳化された脂肪は消化液の分泌を促し、内臓の働きを活発にさせます。また口に入れて溶けて液状になるアイスクリームは、歯に付きにくく虫歯になりにくいとも言われています。栄養分が多く、食べやすく、消化が良いアイスクリームは、育ちざかりのお子さまにはもちろん、病人食としても理想的な食品です。

●お年寄りの骨折予防にも効果的。

年を取ると骨のカルシウムが減ってきます。特に女性は男性と比べて骨が細いうえ、ホルモンの変化によって50歳頃から骨のカルシウムが急速に減り、ちょっと転んだだけで骨折しやすくなったりします。これを予防するには、吸収されやすいカルシウムを豊富に含んだ牛乳、また乳製品を、若い時から毎日必ず摂ることが大切です。身体への吸収という面では、牛乳や乳製品から作られるアイスクリームはおいしく食べやすいので、お年寄りのカルシウム補給に適した食品と言えます。

- 名称 : 社団法人日本アイスクリーム協会
Japan Ice Cream Association (略称: JICA)

- 会長 : 大野 晃 (おおの あきら)

- 所在地 : 〒102-0073 東京都千代田区九段北1丁目14番19号(乳業会館6階)
TEL. 03-3264-3104

- 協会の目的: アイスクリーム類及び氷菓の衛生・品質の向上、知識の普及と消費拡大

★「アイスクリームの日」の制定

社団法人日本アイスクリーム協会が、明治2年に横浜馬車道で町田房蔵がわが国で初めてアイスクリームの製造・販売を行ったことを記念して、昭和39年に、5月9日を『アイスクリームの日』に制定。